

意見の概要

「利根川・江戸川河川整備計画（原案）」の公聴会にあたり

聴きおくだけの形式的な「意見募集・公聴会」、以前の問題として、「最初にダムありき」→ために「最初に、拙速かつ強引な整備計画あり」の手順への猛省を強く求める。

一、その前に、隠し持つ、全資料の速やかな開示を求む。

例①：カスリーン台風によって決壊したとの“事実”をもとに、過大な治水対策が採られてきたが、目下、埼玉県栗橋付近における新事実が急浮上し、怒りを覚える。

実際には、栗橋よりやや上流の新川通が切れ、この区間約300mの堤防は1メートルほど低く、決壊したとの由。

(鷲尾塾龍さんの資料と当時の写真もありとのこと)

例②：(?究極の目的である)ハッ場ダム建設による、上湯原代替地の地層の、現在、公表されずの事実に基づく真の資料を明らかにせよ。

二、利根川水系全体の計画にすべきである。

渡良瀬川、鬼怒川、霞ヶ浦などはどうなるのか。

三、その利根川に確実に流れ込む、吾妻川のヒ素問題はどうか解決するのか?

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。